

しょくいくだより

平成31年1月
京田辺市学校給食委員会



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間



1月24日から30日は全国学校給食週間です。毎日食べている給食についてふり返り、考える機会にしましょう。

給食の歴史

【明治22年～】

山形県で、貧しい子どもたちに、おにぎりや塩鮭、漬物を出したことが給食の始まりといわれています。



【昭和22年～】

全国で学校給食が始まりました。アメリカから配られた脱脂粉乳などを使ってミルク（脱脂粉乳をお湯でといたもの）や、トマトシチューなどが出されました。



【昭和26年～】

全国でパン、ミルク（脱脂粉乳をお湯でといたもの）、おかずがそろった形の給食が始まりました。



【昭和51年～】

ごはんが主食の給食が始まりました。カレーライス、牛乳、野菜の塩もみ、スープ、くだものなどが出されました。



【現在】

栄養バランスの良い食事というだけでなく、健康な身体を作るための食品の選び方や、日本の食文化、郷土食、みんなで食べる楽しさなど、「食」を学ぶための手本となっています。



給食週間特別献立

（1月21日～25日）



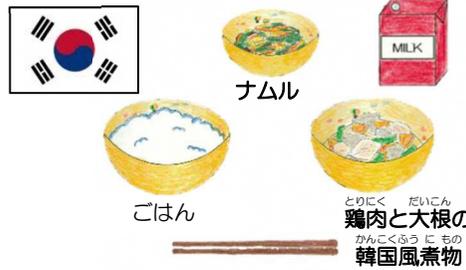
今年の給食週間特別献立のテーマは「がんばれ日本!!オリパラ（オリンピック・パラリンピック）給食」です。2020年は東京がオリンピック・パラリンピックの会場となり、たくさんの国の人が日本へやってきます。

世界の国ではどんな料理が食べられているのでしょうか。今年の給食週間は、1988年から2004年に会場となった国の料理を特別献立として出します。来年の給食週間には2008年から2024年の会場国の料理を出す予定です。各国の料理を味わい、世界の国々に興味をもちましょう。



21日

韓国（ソウル）



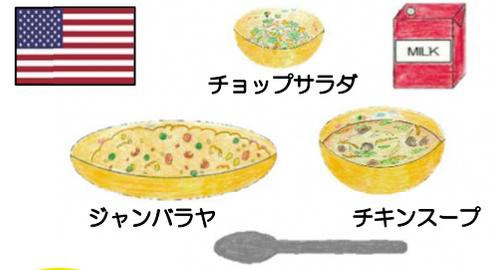
22日

スペイン（バルセロナ）



23日

アメリカ（アトランタ）



24日

オーストラリア（シドニー）



25日

ギリシャ（アテネ）



いろいろな国の料理を
たのしまおう♪

